

Stitches for Riches 広報誌 シェムリアップ通信

2021年 12月号
作成: Stitches for Riches
広報誌編集部

<文化祭で商品を販売しました>

カンボジアのお母さん達が縫ってくださった商品を文化祭で販売しました。買ってくださった皆さん、本当にありがとうございました。

商品を渡す際には、Stitches for Riches (SFR) について説明が書いてあるカードを一緒に渡しました。また、Stitches for Riches やカンボジアについてまとめた模造紙の展示も行いました。先生や生徒の皆さんに SFR について興味を持ってもらえるきっかけになっていれば幸いです。

販売した製品は、手提げ袋を500円、ペットボトル袋300円、巾着袋を400円でした。今回の売上金額は39,600円となりました。売上金額は、ASAP (NPO 法人アジアの子どもたちの就学を支援する会) を通してカンボジアに送金されます。商品を作ってくれたお母さん達は、売上金を手にすることで子供たちの教育に必要な文房具や制服などを購入することが出来ます。



<商品について>

Stitches for Riches の商品は1つ1つ手作業で作られていて、カンボジアのお母さん達の温かさを感じることができます。リバーシブルの手提げ袋は、先生や生徒のなかで聖書バッグとして使っている人が多く、人気が高い商品です。また、Stitches for Riches の商品は全てハート形のロゴが入っています。普段使いにとっても便利で、丈夫に作られています。そして、何より売上金のカンボジアのお母さん達への賃金となります。次回販売する際には、ぜひ手に取ってごらんいただければ幸いです。



<サレイさんについて>



サレイさんは二年前、ASAP を通じて日本に一年間研修に来ていた小学校の教員です。日本で生活をしていた時は、アルバイトをしながら現地の教師のリーダーシップをとれるように、様々な教育活動について研修を受けました。今後もサレイさんについてシェムリアップ通信を通して、発信していきます。

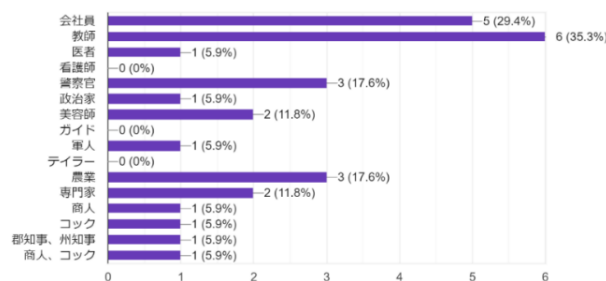
<カンボジア生徒のアンケート結果>

前回に引き続き、カンボジアにあるトロピアン高校の2、3年生に対して行ったアンケートの結果をお伝えします。今回は「将来の仕事」「誰と一緒に住んでいるか」「月々のお小遣い」について紹介します。

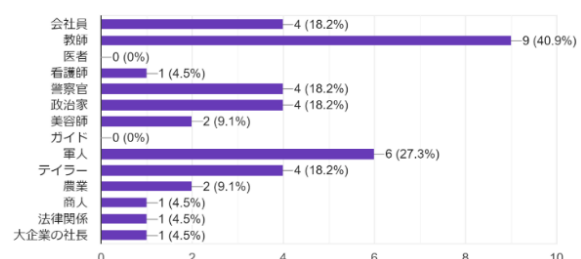
○将来の仕事○

右のグラフが高校二年生、左のグラフが高校三年生です。高2高3とともに教師になりたい人が最も多かったです。教師という仕事は高校生にとって一番身近で、憧れる職業であると考えられます。他にも会社員や警察官など幅広く、様々な職業があげられています。その中で比較的人気になる衣服の仕立をするテイラーです。この職業は、日本ではあまりなじみがないと思いますが、カンボジアでは、布を購入して採寸し、洋服を作ることが多いためです。これはカンボジアならではの分かります。

Q2 将来の仕事
17 responses



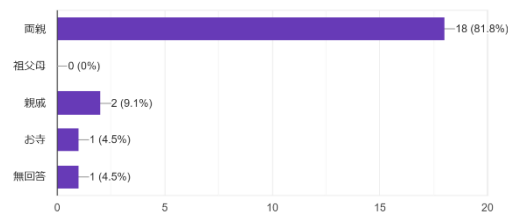
Q2 将来の仕事
22 responses



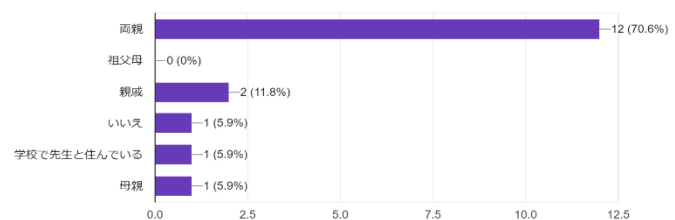
○誰と一緒に住んでいるか○

右のグラフが高校二年生、左のグラフが高校三年生です。自分の部屋があるかというアンケートでは、高2高3ともに半分以上がないという回答でした。両親と住んでいるという人が圧倒的に多く、そこは私たちと同じでした。しかし祖父母と住んでいるという回答は一つもありませんでした。一人で暮らしているという回答や、学校で先生と住んでいる、お寺に住んでいるなどという日本ではほとんど見られないケースもあることが分かりました。

Q4 誰と一緒に住んでいるか
22 responses



Q4 誰と一緒に住んでいるか
17 responses



○月々のお小遣い○

月々のお小遣いについては右のような結果でした。最も少ないのが10,000 リエル(268 円)、最も多いのが90 ドルで、幅広かったです。

1 ドルはおよそ 100 円なので、私たちの感覚で考えると少し少ないように思えますが、カンボジアの物価は日本より安いのでそのことを考えると妥当だといえます。

しかし回答数の数からして、お小遣いをもらってない人もいるということが分かります。

高3

10 ドル以下 5 人
20 ドル以下 3 人
それ以上 4 人

高2

10 ドル以下 2 人
20 ドル以下 3 人
それ以上 2 人